

議会活性化推進会議行政視察報告

議会活性化推進会議では、品川区、四日市市を視察しました。
概要は以下のとおりです。

- (視察日程) 令和8年7月22日～令和8年7月24日
(視察都市) 品川区、四日市市
(実施内容) ・品川区・・・区民と議会の交流会について
・四日市市・・・予算・決算の政策サイクルについて
議会アドバイザーについて
市議会モニターについて

〔品川区〕

品川区議会では、広く区民の意見を聴く機会を持つために、平成28年から議会報告会を開催している。当初は、議会全体で議会報告会を実施していたが、参加者が減ってきたため、新型コロナウイルス感染症の影響によるオンライン開催も取り入れながら、常任委員会別に実施することとなった。その後、区民との交流に力を入れるため、令和5年以降は議会報告会の名称を「区民と議会の交流会」に変更し、議会に興味がない人にも関心を寄せてもらえるよう、商業施設のオープンフロアでの開催や、携帯トイレの組立ての実演など、毎年、様々な工夫を重ねながら実施している。委員会別の実施については、参加者が自分の好きなテーマの意見交換に参加できる一方で、議員の負担が大きいなどの課題がある。オンライン開催については、気軽に自宅から参加できる一方で、参加者の反応が把握しづらいなどの課題があり、意見交換を中心とする区民と議会の交流会となってからは、対面のみで実施しているとの説明があった。

委員からは、意見交換のテーマの決定方法や議員の発言内容、意見交換で出された要望への対応に関する質問が出た。



(品川区での視察風景)

〔四日市市〕

四日市市議会では、これまで様々な議会改革に取り組んできており、予算・決算の政策サイクルについては、平成 21 年度に予算常任委員会、決算常任委員会を設置し、従来の 4 常任委員会の所管ごとに、4 つの分科会を設置している。毎年 8 月の決算審査でチェックした後、議員間討議で論点を整理し、全体会で意見集約した内容を翌年度の当初予算に反映されるよう市長へ提言している。市は提言内容を踏まえて予算を作成し、翌年 2 月の当初予算の審査の際に、提言内容が反映されているかチェックし、その後の決算審査まで引き続きチェックしている。議会モニター制度については、市議会の運営等に関し、市民からの要望、提言等を広く聴取し、市議会の運営等に反映させることにより、市議会の円滑かつ民主的な運営を推進するために、平成 16 年から運用を開始している。モニターの職務は本会議、委員会を傍聴し、会議運営等に関する意見や市議会だより、

ホームページに関する意見を提出してもらうこと、議員との意見交換会に参加してもらうことであり、令和 8 年度は地区推薦 23 人、大学生 5 人、公募 17 人の計 45 人のモニターが活動している。議会アドバイザーについては、外部の有識者の意見を取り入れて市議会の取組を推進すること、議員への研修を積極的に実施することを目的に令和 4 年度から導入しており、令和 8 年度は 2 名の大学教授にアドバイザーを委嘱しているとの説明があった。

委員からは、議会モニターの活動スタイルや、議会アドバイザー導入による改善点などについて質問があった。



(四日市市視察風景)